

2014年度 ITと人権研究委員会

I. 活動内容とテーマ

- ・アンケートにより、生徒とインターネット、携帯電話の関わりを把握し、課題を分析する。
- ・研修等によって、めまぐるしく移り変わるインターネット、携帯電話の環境について、研究委員の認識を深める。
- ・人権に関わるインターネット、携帯電話の問題について教材化を進める。

II. 取り組みの経過

第1回 5月30日(金) 檀原市中央公民館

- ・活動内容と方向性の確認
- ・今年度アンケートについて、実施方法と内容の検討、設問の修正
- ・各校の取り組み調査についての実施検討
- ・課題研究(委員会所属校の取り組み・HR内容についての意見交換、情報科教科書、早野正純さんらのチームによる「熟議(生徒とともにネットを語るディスカッション記録)」)

第2回 6月20日(金) 檀原公苑陸上競技場会議室

- ・アンケート内容最終確認
- ・各校取り組み調査様式の検討
→推進委員夏期研修会の協議資料と兼ねる
- ・課題研究(情報科教科書、情報科副教材、三重県教委の取り組み、読売新聞人権シンポジウム、人権教育啓発推進センターパンフレット)

第3回 9月19日(金) 檀原市中央公民館

- ・アンケート中間集計の確認と分析作業
- ・課題研究(三重県教委「わたしかがやく みんなで学ぶネットモラル」、「ウェブサイト集」、DVD「スマートフォンの利便性と危険性」NHKエンタープライズ視聴)

第4回 10月31日(金) 檀原市中央公民館

- ・アンケート結果の確認と分析
- ・課題研究(DVD「ひとみ輝くとき」「あの空のむこうに」)

第5回 1月9日(金) 檀原公苑本館

- ・アンケート分析の確認
- ・各校取り組み調査集計の確認
- ・本年度の総括と次年度への課題を整理

III. 本年度の総括

- ・アンケートから使用実態や意識について興味深い結果が見てとれた。(資料参照)
- ・各校取り組み調査をし、それぞれの学校にて参考資料となるような一覧をつくることのできた。

- ・日々変化する I T 環境に対応が追いつかず、各校においての指導に苦慮している現実を把握することができ、教員側のスキルアップの必要性を再確認した。
- ・ケータイ、インターネットについて、生徒の使用上の問題をきっちりと把握し、人権意識を持って正しく使用方法を伝えていく必要がある。
- ・インターネット上の特定のサービスについて、負のイメージが先行しているように見受けられるが、実際には利便性の高いものである。いずれの事柄も利便性とその影に潜む危険性をきっちりと認識して、どこに問題点があるのかを見据えていくことが大切ではないだろうか。

IV. 来年度の課題

- ・アンケートの実施は、その時々を生徒の実態、意識を知る一助となるという点で継続実施していきたい。
- ・各校取り組み調査中の自由記述部分は今後の指導や教材作成などに参考になることが多く、活用について考えていきたい。
- ・情報機器の機能、サービス、それによる人と人とのつながり方の変化など、環境は日々変化していくが、問題の根本となるところは他の人権問題と通ずるところであり、普遍的な部分をはずすことなく環境変化に対応できる教材づくりについて考えていきたい。